

## 智頭町地域公共交通計画（案）パブリックコメント結果

### 1. 計画記載内容に関する意見

No.	頁	該当箇所	ご意見の概要	意見に対する考え方
1	37	バス停まで500m以上離れて不便	那岐にも"早野""真鹿野""大屋"と支線があり、何れも奥部からバス停まで高齢者が通うことは困難。地区毎に、通院・買い物など回数・時間などアンケート調査を進めて頂ければ有難い。官民あげて公共交通を利用するシステム作り。	計画策定にあたっては、意見交換会の開催やアンケート調査・ヒアリング調査等により、住民の皆さまの移動実態やニーズの把握に努めてまいりました。今後、具体的な対策の検討や、事業の実施効果を検証するために、あらためてアンケート調査等を実施する場合がありますが、その際は、調査結果を関係者間（交通事業者・シルバー人材センター・地域自治組織等）で共有し、官民が連携した公共交通のシステム構築に反映していきたいと考えています。
2	46	目標1～9まで	すべてR2は検討で、R3より随時実施となっているが、どのニーズがより高いかなど検討して優先順位をつけるべきではないか。	令和2年度において、各事業について関係者との協議・調整を行い、優先順位付けを行った上で、優先度の高いものや速やかに着手できるものから事業に取り組んでまいります。
3	12	鳥取県が推進する交通に関する取組	鳥取県が推進する取組には、山陰インバウンド機構に委託するかたちで標準的なバス情報フォーマット（GTFS）の作成も行われていたと思うが、すぎっ子バスなどのコミュニティバスは対象外なのか。	すぎっ子バスのようなコミュニティバスは、現時点では時刻検索の対象にはなっておりません。ご指摘の内容を関係機関と共有し、今後の取組の参考とさせていただきます。
4	19-20	すぎっ子バス乗降調査	すぎっ子バス乗降調査や住民アンケートの元データは公開されているのか。智頭病院の駐車場は満車になることもあと町議会の一般質問で聞いたが、その反面、このデータではバス通院利用者数が少ないように思う。診察予約時間とバスの時刻が合わないなどの理由があるのか、町の見解が知りたい。	各種調査の元データは公開しておりません。 定時停路線のすぎっ子バスについては、児童・生徒の通学利用を優先する必要があるためダイヤ編成に制約があり、一般利用者には不便なこともあります。通院については、自家用車を利用する人が多い実態があり、駐車場が満車になると考えます。 そのような中、利便性の向上を目指す中で、より自由度の高い共助交通を推進していく必要があると認識しています。
5	25	住民アンケート調査		
6	39	公共交通の利用促進と新たな利用者の開公共交通の利用促進と新たな利用者の開拓	交通系ICカード（Suica、ICOCA、PiTaPa等）、流通系ICカードの導入の検討はされないのでしょうか。	現在連携中枢都市圏事業として、公共交通機関のIC化に向けて関係事業者と共に運用可能な制度の検討を行っているところです。今後各交通機関の整備状況に合わせ、順次検討してまいります。
			すぎっ子バスは時刻表はありますが、「路線図」が公式サイトにも掲載されていないように思われます。	今後掲載するようにします。

## 2. 各事業に関する意見

7	40	事業①地域内における共助交通の導入	共助交通の早期導入には賛同するが、現状のすぎっ子バス利用で高齢者の町内利用の無料化などを導入してどの程度利用があるか検討してみてもどうか。	全国的にも地域交通の現状は、運転手確保困難や収益の減少により持続可能な運行体制の見直しが急務となっています。すぎっ子バスの乗降調査や運行委託業者のヒアリングを実施し、早急に方向性を示す必要があると判断しました。共助共通の導入は、実証実験等を行いながら段階的に進めていくこととしております。ご意見の内容を関係機関と共有し、今後の取組の参考とさせていただきます。
8	42	事業②告知放送端末を活用した公共交通検索・予約システムの導入	現状スマホの普及が進んでおり、告知端末のみならず、携帯して利便性の高いスマホ利用も導入されたい。	今回更改を予定している告知放送端末は、インターネットなどのネットワーク経由で使用者にサービスを提供する「クラウド」による運用を検討しており、スマートフォンやその他の通信機器での活用も可能となるよう検討を進めています。 今後は、タクシー予約のみならず多機能型の告知端末を導入することで、住民の方々が積極的に活用いただくよう検討します。 (告知放送端末に加えて、スマートフォンにも対応することを予定しているため、記述を追加しました。)
9			告知放送端末を利用する意味がわからない。現行の告知放送端末においても故障などがあるにも拘らず、放置している住民もいる。放置している要因は告知放送端末を普段から利用しない為と思われるが、交通検索や予約は必ずしも家から行うとは限らず、外出先などで行うこともある。告知放送端末など特定のハード端末に固定せず検索や予約が行えるシステムにするべき。また、告知放送端末を設置するかどうかは住民それぞれの選択であるべきであり、バス予約ができるために告知放送端末を設置しないといった縛りや目的を加えないほうがよいと思う。	なお、外出先でも公共交通の時刻・経路検索や予約ができるよう、スマートフォンへの対応に加えて、主要施設における予約端末の設置についても今後検討してまいります。
10			Society5.0の視点から、すぎっ子バスのGTFS-JPや動的フォーマットであるGTFS-Realtimeの作成を行い、オープンデータ化したGTFSで情報を提供することにより、GoogleMapsや、駅すぱあと/Yahoo!乗換案内に反映することができるようにあり、世界中の人が智頭町のバス情報を見ることができるほか、多言語対応も可能となり、既存の観光系アプリや生活情報アプリ、医療福祉アプリなどにも取り込むことができるようになる。対応を検討されてはいかがか。	Society5.0の利活用等は今後の課題と考えています。ご意見の内容を関係機関と共有し、今後の取組の参考とさせていただきます。
11			特定の事業者のみに交通データを提供するのはよくないと思う。官民データ活用推進計画の策定を行いデータ提供のあり方を明確にするよう検討して頂きたい。また、オープンデータへの取組もスケジュールに盛り込むよう検討して頂きたい。	IT等の急速な拡大により、大量のデータ流通が始まり、今後もあらゆる場面でITが大きな影響力を持つこととなります。このため、官民データ活用推進計画の策定は今後必要であると認識しているため、今後策定に向け、検討していきたいと考えています。

12	42	事業③待合環境の改善	智頭バス停（旧高速バスのバス停）のログハウス風建屋は埃や蜘蛛の巣が多いです。今後の旧高速バスのバス停の活用や日常の清掃はどうなっているのか。	高速バス停の移動、保育園の一園化に伴い、現在智頭バス停の利用（清掃含む）は行われていないところです。今後の活用方法について検討していきたいと考えています。
13			豪雪時のバス停の除雪やバス停までの歩道の除雪はどのようになっているのか。	本町における除雪業務委託には歩道除雪は含まれておらず、町が無償貸与している歩道除雪機で集落の方にボランティア活動として通学児童等の安全確保の協力をお願いしております。
14			智頭駅や病院にバスネットの端末がない。	告知放送端末の更新にあわせて、外出先からスマートフォンで公共交通の時刻・経路検索や予約ができるよう整備を検討します。主要施設における予約端末の設置についても今後検討してまいります。
15	43	【目標 4】通学・通園利用の利便性向上	<p>スクールバスを導入するにあたって検討すべきこと</p> <p>①児童生徒と住民との混乗(特に朝の小中学生と病院への通院患者、保育園へ通園する児童の混載)</p> <p>②スクールバス運転手の確保(昼間時間帯の空白時間による収益減)</p> <p>③スクールバス導入＝那岐駅・土師駅利用の中学生もスクールバスで通学(大型バス1台購入)→因美線(那岐～智頭間)の利用者激減→JR西日本管内で営業収支がワースト2～3である因美線(智頭～津山間)の廃線ということになりかねない。ということは地域公共交通のあり方をもう少し広域的に考えるべきだと思います。</p>	<p>①スクールバス導入にあたっては、共助交通の進捗状況が大きく影響してくるところですが、朝夕の通園・通学時間帯の運行については、通学児童・園児のみの乗車とし、通院等に利用される方については共助交通でカバーしていきたいと考えています。</p> <p>②運転手の確保については、高齢化や担い手不足、収益問題など多くの課題が山積しております。引き続き関係事業者と連携して未使用時の活用方法の検討など努めてまいります。</p> <p>③ご指摘のとおり、地域交通のあり方を検討する際には広範にJR因美線の存続に向けては、沿線地域の域内交流・域外交流の活発化に向けた取り組みや地方鉄道の確保維持と観光振興を含めたまちづくりとの連携手法など、公共交通サービスの向上に向け、十分に検討して行くことが必要であると考えています。</p>
16	44	【目標 6】関係主体を巻き込んだ持続的な運行体制の構築	新たな公共交通ネットワークの機能として、片道はお客さんを運び、片道は宅配業務等を行うことにより運営主体の収益増を図る。	共助共通の導入は、実証実験等を行いながら段階的に進めていくこととしており、その中で、宅配業務等を行うことによる収益拡大についても検討してまいります。ご意見の内容を関係機関と共有し、今後の取組の参考とさせていただきます。

### 3. その他に関する意見

17		-	策定委員会委員名簿がない。町が推進している全ての計画において委員名簿の添付は必要と思う。	策定委員会については、設置していません。しかし、それぞれの利害関係者からの聞き取りや会議を経て策定しています。
18		-	智頭町公式サイトでは、策定済みの計画や過去の計画、アクションプラン、パブリックコメントの結果が一覧表になっておらず、策定計画を探しにくい。鳥取県には過去のパブリックコメント一覧（平成27年～）や、実施予定一覧を公開しています。智頭町も事前に実施予定一覧を公開し、過去のパブリックコメント一覧も公開して頂きたいと思う。	各種計画等にアクセスしやすくするために、智頭町公式サイト「めざすまちづくり」頁に各種計画等のリンクを集約します。
19	全体	-	バス停・駅に近ければ公共交通を利用して通勤が可能だが、バス停・駅が遠い地域はなかなか難しく、自家用車通勤が必要となってくる。 また、他の市町村を見る限り、通勤帰りの買物なども十分に出来る便を維持していると思う。	ご意見の内容を関係機関と共有し、今後の取組の参考とさせていただきます。
20		-	智頭病院に通うのに、シルバー人材センターの公共交通空白地有償運送を利用しているが、問題は夜間。公共交通空白地有償運送も日交タクシーも夜間は利用できないのが不便である。運転免許証は返納しており、子どもは遠方在住のため、不自由している。	ご意見の内容を関係機関と共有し、今後の取組の参考とさせていただきます。